

東郷元帥記念公園 第13回協議会 議事要旨

1. 開会(区)
2. 挨拶(区:環境まちづくり部部长)
3. 会長の挨拶
4. 議事
 - (1) 工事監理業者・工事施工業者の決定について(区)
 - (2) 前回の議事要旨について(区)
 - (3) 東郷元帥記念公園の改修整備について(コンサル)
 - (4) 工事スケジュールについて
 - (5) 参加企画(案)について(コンサル)
 - (6) 意見交換
5. その他(区)
6. 閉会(区)

<意見交換(東郷元帥記念公園の改修整備について)>

会長

- ・皆さんからご質問、ご意見をお願いしたい。

委員

- ・回転遊具について、立って遊んで大丈夫か。

事務局

- ・回転していない状態は危険ではないが、6人ぐらいで回して、回転を始めた状態では立ったら危ないと考えている。

委員

- ・根株移植について、とても由緒ある木ではなかったら、金額的にも安く、施工的にもやりやすい新植の方が良いのではないか。

会長

- ・千代田区内で並木を伐採しようとしたら非常に反発があった、ということが過去にあり、千代田区としては相当ナーバスになっている。そういうことも含めて、なるべくあるものは残したい。それでも今回「東郷坂と公園をなるべく近くしよう」という話の中で多少切らざるを得ないので、少しそれを緩和しましょう、という趣旨である。

傍聴者

- ・ゴミ箱の形状についてはどのように考えているか。
- ・ヨーロッパの公園はテロを防ぐためにビニールを半透明のものにしてある程度ゴミが見えるかたちになっている。
- ・現状のゴミ箱だと中に何が入っているのか全く見えないかたちになっている。安全性の面としてどのように考えているか。

事務局

- ・今のところは現状と同じようなタイプで、全く新しいものをいくつか入れたいと考えている。一方、テロのところま

では考えていなかったなので、もう一度「何がいいのか」という議論を中にして提案していきたい。

委員

- ・回転遊具について、一人で私が回すのも難しいぐらいの力だった。見た目よりも上の部分が平坦で、子供が乗りやすそうなリングだったので、そんなに子供たちが 10 人ぐらいで回してもすごいスピードが出るような危険なものではないのではないかと実感した。

委員

- ・回転遊具について、私も現地に行き、回転する部分が重いということと、子供が隙間に手を挟み込んでしまうことはないということを確認した。
- ・6 歳から 12 歳の子供用というのが貼られているだけだが、もうちょっと保護者に優しい注意喚起のものをつけたほうが良いと感じた。子供はたぶんこれを読まないの、先ほども危惧されていたような話がちょっとあるかなと。対象年齢を外れた子供が乗って、ということもあるかと思うが、先ほどお話があったように重いので大丈夫かなと感じた。

委員

- ・西の側の東郷公園のいったところから左側のところの小道が封鎖されていたが、通勤に使われるのかバイクや自転車を置きっ放しにしていたが、今後例えば改修工事が終わってからもたぶんそういった方もいらっしゃると思うが、対応などは考えているのか。

会長

- ・もちろん管理は考えるが、毎日通られたときにそういうことがあれば、こういう話をしたら対応してもらえるのかという話だと、すごく建設的な話ができる。

事務局

- ・現在囲いを設置した経緯は、違法駐輪・バイク等の関係が何台も停まっていたのを確認しており、地域の方からもお声をいただいている中で、「どうにかしたほうが良い」というところで苦渋の決断としていったん囲った。自転車を停める他に、場合によってはバイクの違法駐輪というのがやはり出てきてしまう可能性は否定できない。それはやはり、貼り紙を貼るところから始まって。その方と接触できればお話をさせていただいて、徐々にそういう違法駐輪に関してお話させていただく。そういうところからやっていくのかな、と考えている。

委員

- ・仕方がないことだと思うが、その囲いをしたところにまたバイクが置かれるということもあったので、少しお話をさせていただいた。

委員

- ・維持管理について 1 年に 1 回では不安だ、という意見が挙がっている。点検の専門業者は年 1 回は決定されているということで、「他は地域の方々と連携してご協力いただきたい」という話が先ほどあったが、具体的に地域の方とどのようなかたちで定期的に見守っていくかというのはもうできあがっているのか。

事務局

- ・見守っていく、というのは。まず、「専門業者による点検」というのは、1 年に 1 回は確実に全ての遊具に対して行う。一つ私どものところで言いたかったのは、私どものパトロールというのがある。平常、日常の時間についても、東郷公園の他にもたくさん公園がございますので、できる限り見て、例えば部品が壊れている、ネットが

切れそうだというのが発見できれば、その都度修繕・補修は順次やっていく、今後も当然やっていくという風に考えている。

- ・具体案というのがあるわけではないが、その辺も踏まえてご協議、私どももご提案させていただいていきたいと考えている。

傍聴者

- ・ちよくるについて、8台分ということだが、多いときだと30台くらい置いてある。それが、皆さん出発の8時半ぐらいになるとほぼ0になってしまう。
- ・8台というのは極端に少ないと思う。

事務局

- ・8台ということについては、現在の数をそのまま、今以上の数は基本的には増やしていない状況。
- ・東郷公園の周辺に中々新しい場所が設けられておらず、集中的に東郷が使われてしまっている。
- ・個数に関しても、場合によっては8台でない可能性はあるかな、と思っている。
- ・ちよくるを置いてしまうと、当然ちよくるを使う利便というのは増進すると思うが、たださえ多くの皆さんが使っている公園の用地を使ってちよくるの用地として使うことにならざるを得ないので、慎重に判断していきたい。

傍聴者

- ・歩道のほうに出ちゃうとまた文句が出ちゃって大変なんじゃないかなと思う。西と東、二つに置けるようにする等、検討して欲しい。

会長

- ・前回までの案だと内側に向いていて、「もし増えたら増やしましょう」という話があったし、もっと前の話だと、小学校で保護者会があるときには、お母さん方がきちんと自転車を停めていて、「そういう時間帯によってきちんと使い分けをしている使い方はこの公園のいいところですよ」という話がありましたから、「ここはちよくる、ここは自転車」とかやってしまうと、実はこの良さはちょっと残念なことになってしまう可能性もあるかなと。
- ・ちよくる自体は東郷公園じゃなくても千代田区も含めて、もっと大きいと新宿も含めてあるので、その整備の状況も考えつつ、これは少し宿題にしていきたい。

委員

- ・五番町交差点のところにもちよくるのステーションができる予定である。

会長

- ・ちよくるのステーション自体がこれからもっと増えていく状況も踏まえて検討していただきたい。

委員

- ・小学校の安全な通学路というのがどれぐらいのときに決まるのか。

事務局

- ・九段小の工事が終わったときに下段ができあがる状況を考えている。九段小の皆様が通い始めるときには下の広場はできあがっているの、そこについてはご心配ないのではと考えている。
- ・公園の中の通路というのができあがってこないと中々開放すると危険であり、そういったところは仮囲いしている間はご不便をかけるしかないかなと考えている。

委員

- ・近くに私立の女子校の方々も通学されるので、かなり混み合うのではないかなど。

会長

- ・スーパーノバについて、回るので危なくないこともないが、割と「まあ、危ないなりに使えるんじゃないか」というご意見もあったので、よろしければ導入の方向で検討を進めたい。

<意見交換(工事スケジュールについて)>

会長

- ・皆さんからご質問、ご意見をお願いしたい。

傍聴者

- ・工事の際、具体的に交通量がどのくらいになるのかというお話を伺っていないが、どういうことか。

事務局

- ・工事車両の情報の共有を月 1 回行うようにしているので、そちらで調整させていただきたい。
- ・工事の説明はまた来週お伺いする予定になっている。

傍聴者

- ・それはぜひしてもらわないと困る。
- ・交通量が多いのと、それからうちのマンションにもやはり九段小学校に通学されている方や未就学児童の方もけっこういらっしゃる。
- ・九段小学校の工事に関してははずいぶんずさんな業者だった。どのくらい車が通るのかとか、前もってちゃんとやっていただかないと。車で通勤されてる方もいらっしゃる。うちは高齢者も多いし、それを含めて、もうちょっと手順というのを考えていただきたい。

会長

- ・こういう話は何が起こるのか事前にわからないまま現実が起こると非常に不満ですので、やはり「こういうことが行なわれます」というのはなるべく早く広く共有しておきたい。
- ・施工にあたってご留意いただければ。せっかくみんなでがんばって良い物を作ろうと思っているので、作るときに近隣の方にご迷惑が掛かってはちょっとまずいと思うので、ご配慮をお願いしたい。

委員

- ・じゃぶじゃぶ池について、今年の夏は遊べるということでよろしいか。

事務局

- ・今年の夏については、今の子供の池をそのまま使える状態を考えている。夏がくる前に上段にある子供の池をうまく整備できるタイミングがあればそこまで含めて工事を行い、31 年の夏にこの子供の池が新しいものであるように何とか手配できないかな、という検討を今している。

委員

- ・遅れるということはないのか。動物村をやっており、遅れるとかいう話になると下でできなくなってしまう。上でやっていいのかとか、そういうことがある。

事務局

- ・下段については九段小の開校に絶対合わせなきゃいけないというような。

委員

- ・そこだけ延びてしまって、10月とかそういうところになってしまうと、移動動物園とかができなくなってしまう。

事務局

それは十分に気をつけて。

- ・完全に九段小学校に通い始める9月1日までに東郷公園の下段を整備させたいと考えている。

委員

- ・触れないのであれば大丈夫だが、先ほどもちよっと色々な段取りの話を伺っていて、「それで延びてしまうことは絶対にないですよ」という。色々な方に迷惑が掛かっちゃうので、そこだけは。建設業者が手配できないとか色々な話を伺って。

会長

- ・年間の「この時期にこれをやる」というのはその動物村だけか。

委員

- ・ラジオ体操もある。

会長

- ・現在日常的とか定期的に使ってらっしゃる活動については区のほうで把握していただいて、使えるものは使えるし、使えない場合はどこか代替の場所を準備するというのは、ぜひ。それこそ予め主催者の方と協議をしていただいて、行ってみたら使えないとかがないようにしていただきたい。

<意見交換(参加企画(案)について)>

会長

- ・歴史について、この公園は非常に由緒正しい公園で、上六公園、緑小学校で、関東大震災の復興のときに小学校と交流するために作ったという公園の中で、非常に良く古い景観を残している公園なので、その記憶や血液は残したい。
- ・イベントで言うと、なくなっちゃった二七不動産の火渡修行をやったので、写真を持ってないかというのも気になる。
- ・皆さんからご質問、ご意見をお願いしたい。

委員

- ・戦後、中段で盆踊りをやった時期がある。残念ながら私は写真を持っていないが、九段四丁目の方がもしかすると持っているかもしれない。

会長

- ・そういうヒントをいただくと探す手がかりになる。歴史的なものはぜひ帰って聞いていただきたい。
- ・3月末ぐらいを目処に区にご連絡いただきたい。
- ・参加行事については、少し検討させていただく、ということよろしいか。第一期工事に入ってしまうので、少し検討しながらお声掛けをするということになる。

委員

- ・東郷公園との境目のところに壁とか池とか、子供たちの描いた絵を貼り出しているようなかたちのものがある。ただ殺風景なバリケードではなくて、子供たちの絵とか作品を出せるようなことができればいいのかなと感じた。

事務局

- ・実際、仮囲いも、最近よく写真を貼ったりだとか絵を飾ったりということも結構多いので、検討したい。

会長

- ・これは前向きに区のほうにもご依頼いただきたい。

傍聴者

- ・歴史資料の提供について、これって協議会の中だけでは話が伝わらないと思うが、千代田区の広報誌とかに載せたりとかはしないのか。

会長

- ・大変良いご提案だが、広報誌の締め切りに間に合うかどうかですね。

事務局

- ・広報を通じてこういったかたちでご提供いただけるような依頼というのを載せていきたい。
- ・広報の期限もあるので、何とかそこに間に合うタイミングでお出ししていきたい。

傍聴者

- ・千代田区のWEB サイトも考えられる。

会長

・だいたいご意見を頂いたので、まとめに入りたい。

- ① 改修整備について、遊具は回転遊具を進める方向でご承認をいただいた。
- ② 根株移植についても行う方向で工事を進める。
- ③ ゴミ箱については現状通りということだったが、改めて「何がいいのか」ということを議論して提案する。
- ④ ちよくるの設置について、今のかたちが良いのかどうかというのは、ちよくる全体の配置計画も含めて少し検討させていただく。
- ⑤ 違法駐輪・バイク等については引き続き監視をして適切に対応していく。
- ⑥ 工事については、九段小の工事もあるので、工事車両の量や時期の話、施工の手順として何が起こるのかというのはなるべく早めに地元にも伝えるように、徹底していきたい。
- ⑦ 子供の池については、少なくとも今年の夏は使える方向で調整している。来年以降については行程を見ながら何とか使えるようにして欲しいという意見を頂いた。
- ⑧ 工程に関連すると、移動動物村のような日常的に使われているものについてきちんと確認して、工事との関係について制御して、引取先が必要であれば代替の場所を確認する。
- ⑨ 歴史資料の提供については、「ぜひご検討ください」という意見と「広報を積極的に行って欲しい」という意見を頂いた。
- ⑩ 施工中の参加行事についても検討させていただき、また募集を掛ける形で進めていきたい。

<次回日程について>

会長

- ・参加行事については、必要に応じて協議会を開かずとも情報を知らせる可能性がある。
- ・工事に限らないが、なるべく早め早めにお知らせした方が傍聴者も多いので、検討していただきたい。

事務局

- ・了承した。
- ・次回は6月末から7月初め頃を予定している。決定後、開催通知等にてお知らせする予定である。

閉会

以 上